

栄養健康研究会

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	<p>1 月 24 日会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> • 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集進める。 • 茶成分データの共有に、会員サイトの DB 機能の利用確認 • Eur.J.Clin.Nut. に発表した論文のを、各社で手分けして日本語化し、「イルシー」誌に投稿する。役割分担決定。 • EFSA 安全性指針への情報提供について：情報のベースとなる論文のリストの確認およびレビュー内容の確認に関してスケジュール案を相談
3,4 月	<p>2017 年 3 月 22 日会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> • 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集進める。 • Eur. J. Clin. Nut.に発表した論文のを、各社で手分けして日本語化を開始。 • EFSA 安全性指針への情報提供について→レビュー内容を各社で確認後、EFSA に提出した。
5,6 月	<ul style="list-style-type: none"> • 茶成分データベース：静岡県立大学で、中国茶試料の測定試料を調製した。カテキン、カフェインを分析中。得られたデータは部会内で共有する。 • 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集、勉強会を中心に進めることを決定した。
7,8 月	<p>7/14 分科会 打合せ</p> <p>1. 茶類の有効性・安全性情報の発信に関して システマティックレビュー (<i>Eur. J. Clin. Nut.</i> に発表した論文の日本語版) の「イルシー」誌への投稿。7/14 打合せで組版した初稿に対して修正議論を行った。「イルシー」誌に掲載済。 <i>Toxicology Letters</i> に掲載された Dekant らの論文に関して、情報共有。EFSA への情報提供の進捗共有。</p> <p>2. 紅茶の成分テアフラビンなど有効成分に関する研究 テアフラビンの分析法標準化に関する ISO の動向の共有。 分科会内でも情報を共有する。</p>
9,10 月	
11,12 月	